

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	8分	玉城ノブ子(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 沖縄戦から75年たった。改めて沖縄戦の実相について伺う。</p> <p>ア なぜ、沖縄戦が起きたのか。</p> <p>イ なぜ、住民犠牲が多かったのか。</p> <p>ウ なぜ、強制集団死が起きたのか。</p> <p>エ なぜ、糸満では一家全滅が多いのか。その実態について伺う。</p> <p>(2) 沖縄戦の実相を全国・全県に発信し、次世代に継承していくことが、今こそ大事になっているのではないかと。</p> <p>(3) 平和行政、平和教育について、県の取組について伺う。</p> <p>(4) 戦争遺跡の保存、継承について、今後の課題と取組について伺う。</p> <p>(5) 糸満市は沖縄戦最後の激戦地となり、多くの人たちが犠牲になった。多くの戦死者の血が染み込んだ糸満の地から戦争のための基地を造る埋立土砂を辺野古に搬出することは、犠牲者や遺族に対する冒瀆であり、断じて許すことはできない。知事は断固として反対すべきである。見解を問う。</p> <p>2 辺野古新基地建設について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設断念、普天間基地の閉鎖・撤去を求める知事の決意について伺う。</p> <p>(2) 辺野古新基地建設の費用は、県の試算では2兆5500億円である。県民1人当たり175万円になる。安倍政権は辺野古新基地建設を断念し、辺野古新基地建設予算は、新型コロナ対策に回すべきである。知事の御所見を伺う。</p> <p>3 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 県民生活や県経済への影響について伺う。</p> <p>(2) 沖縄県のこれまでの具体的な対策と今後の取組について伺う。</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業における、住宅確保給付金の活用状況と課題について伺う。</p> <p>(4) 中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者に対する個人事業主100万円、法人で200万円の持続化給付金の活用状況と課題について伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスの影響で「仕事がなくなり、収入が減少し、生活していけない」との悲鳴の声が上がっている。必要とする皆さんがすぐに生活保護を受給することができる環境をつくっていくことが大切である。生活保護は憲法で保障されている「あなたの権利」であると、知事が県民に向けて広報するべきである。知事の見解を問う。</p> <p>(6) コロナの影響で、生活困窮に陥っている県民と子供たちへの支援を緊急に実施することが求められている。生活の実態調査、相談窓口の設置、支援体制の強化について伺う。</p> <p>4 ジェンダー平等について</p> <p>女性も男性もそれ以外の性の人、誰もが生きやすく、公平で公正な社会を目指す、それがジェンダー平等である。ジェンダー平等社会をどのように実現するか、誰もが尊厳を持って自分らしく生きられる社会を取り組んでいくか、今問われている。あらゆる分野でジェンダー平等を実現していくために「沖縄振興計画」「男女平等参画計画」の中での位置づけと、今後の取組について知事の所見を伺う。</p>			

- 5 こども医療費助成制度を中学校卒業まで、所得制限なし、一部負担なし、現物給付で実施することについて伺う。
- 6 進学を希望する皆さんが、経済的な理由で進学を諦めることがないように、給付制奨学金制度の拡充が求められている。知事の所見を伺う。

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	15分	渡久地 修(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 県民の民意について 県議選挙では、辺野古反対を公約に掲げた候補者が過半数を占め、当日のマスコミの出口調査でも、玉城デニー知事支持が81%、辺野古新基地反対が71%となっている。別のマスコミの世論調査でも普天間基地は、閉鎖撤去が30.28%で一番多く、国外県外を合わせると69.52%になっている。県民の民意は揺るぎないものである。県民の民意とともに頑張る知事の決意を伺う。</p> <p>2 辺野古新基地建設について</p> <p>(1) 県知事が県独自の緊急事態宣言を宣言した翌日の4月21日に辺野古の設計変更申請を沖縄県に提出した安倍政権の対応は、県民の命よりも新基地建設を優先させたのではないか。</p> <p>(2) 検察庁法改正案を断念したが、安倍首相は、「国民の理解がなくして、前に進めていくことはできない」と述べたが、辺野古新基地建設は、県民の理解が得られていないどころか、県民投票で72%が反対している。断念するのが当然ではないか。それとも沖縄県民は国民の中に入っていないのか、見解を問う。</p> <p>(3) 安倍政権はイージス・アショアの設置を断念したが、工期と費用が膨大に膨らむ辺野古新基地建設こそすぐに断念すべきではないか。見解を問う。</p> <p>(4) 米下院小委員会の国防権限法について、辺野古新基地建設と軟弱地盤等の指摘は重要な変化だと思う。これまでの知事、国会議員、与党県議団、市民団体の訪米行動の積み重ねの重要性を示したと思うが見解を問う。知事は、これからの米議会、米政府、米世論、日本国内の世論への働きかけをさらに強化すべきであるが対応を問う。</p> <p>3 「フォース(戦略)デザイン2030」と沖縄の軍事基地強化の危険性について</p> <p>(1) 今年3月、海兵隊は「フォースデザイン2030」を公表した。従来の地上部隊・航空部隊を大幅に減らして、ミサイル部隊や電子戦・無人機などを大幅に増やす計画で既に進行し、普天間基地のヘリ部隊など沖縄の兵力構成にも影響を与えるものとなっている。米本土の海兵隊だけを削減し、逆に沖縄は、負担軽減どころか、在沖海兵隊が強化される危険があるのではないか。</p> <p>(2) 遠征前方基地作戦(EABO)は、沖縄の米軍基地の強化につながるものである。その一環として伊江島飛行場の基地強化が進められているが、実態と見解を問う。</p> <p>(3) 2017年の元防衛大臣の、緊急時の民間施設の使用が整わなければ普天間基地は返還されないとの趣旨の発言や、1998年のGAOのレポートでは那覇国際空港が米軍航空機の緊急着陸帯として使用可能との報告は、現在の基地強化と結びついているのではないか。</p> <p>(4) 米海兵隊の兵力再編で、奄美、宮古、石垣の自衛隊基地に米軍のミサイルを配備する危険性が増しているのではないか。</p> <p>(5) 日本政府が敵基地攻撃能力の獲得について言及しているが、専守防衛を投げ捨て、憲法に反したものである。また、その際のミサイル配備は沖縄本島、宮古、八重山になる恐れがあるが、断固反対を表明すべきである。</p> <p>(6) これらの動きをつなぎ合わせると、奄美の自衛隊基地、伊江島飛行場、北部訓練場、辺野古新基地、嘉手納飛行場、普天間基地、有事の際の那覇空港、宮古、八重山の自衛</p>			

隊基地を結んだ、まさに、米海兵隊の「フォースデザイン2030」の遠征前方基地作戦と、日本政府の敵基地攻撃能力に基づいた、新たな沖縄の基地強化ではないか。

- (7) 米軍のこのような計画に対して、知事は、沖縄の米軍基地の強化に反対し、辺野古新基地反対、普天間基地の閉鎖撤去に全力で取り組むべきである。
- 4 戦後75年目の沖縄慰霊の日の追悼式典への、広島・長崎市長、国連代表のビデオメッセージ参加の意義について伺う。また、これを契機に、これから人類が目指すべき、戦争のない平和な世界、核兵器廃絶、基地のない沖縄に向け、沖縄、広島、長崎、国連が共通の課題に連帯して取り組んでいくという新たな契機にしてもらいたい。知事の決意を伺う。
- 5 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大と今後の世界、沖縄について
 - (1) 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のもとで、市場原理主義、社会保障切り捨て、自己責任の押しつけの新自由主義から脱却して、社会を変えようとの意識が広がり始めている。軍事力で対決する時代から、世界的な新型コロナウイルス感染症、気候変動、大規模災害など、世界は今こそ力を合わせる時代だと思いが見解を問う。
 - (2) これからの沖縄の経済、社会の展望、今後の沖縄振興の方向性について、これまでも以下の点を提起してきたが、ますます重要になっていると思いが見解を問う。
 - ア 沖縄の特性を生かした第1次産業、観光産業、地場産業、地元企業育成、老朽校舎や団地の改築などの生活密着型の公共事業の推進で、振興予算の本土還流を食い止め、県内を循環し、県内企業、家計に蓄積し、県民所得を向上させること。
 - イ 保育士、介護士、看護師、教員、消防士などの大幅増員、待遇改善など、福祉・医療・教育を重視した社会の実現で雇用を増やすこと。
 - ウ 米軍基地をなくして沖縄経済を発展させること。
- 6 コロナ感染の第2波に対処するための検査体制と医療体制の強化について、以下伺う。
 - (1) 現状と第2波の感染拡大への認識、対策について
 - (2) 早期発見、隔離、治療のために、積極的なPCR検査への体制転換が必要である。
 - (3) 第2波への備えの医療体制の構築と、医療崩壊を防ぐためにも医療機関への大胆な財政支援が求められている。
 - (4) これまでの医療費抑制・削減方針をやめ、命を守る医療の充実に転換すべきである。
- 7 首里城の再建と、御茶屋御殿、中城御殿、円覚寺の復元について
 - (1) それぞれの方針と計画、進捗状況について伺う。
 - (2) 首里城再建過程の公開について伺う。
- 8 旧日本軍第32軍壕の保存公開について
 - (1) 本土防衛の捨て石作戦としての沖縄戦での旧日本軍第32軍司令部の果たした役割と、住民の犠牲が多く出た理由について問う。
 - (2) 沖縄戦の実相を後世に伝えるためにも第32軍壕を保存し、公開すべきである。その意義について伺う。
 - (3) これまでも、入り口の公開、壕の部分公開を技術的にも可能と求め続けてきた。第32軍壕の保存・公開を行うと明言し、その立場からの検討を進めるべきである。見解を問う。

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	11分	瑞慶覧 功(ていーだネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 6・23慰霊の日、沖縄全戦没者追悼式典での平和宣言に込めた思いについて伺う。</p> <p>(2) 式典に寄せられた、安倍首相、広島・長崎両市長、国連代表のビデオメッセージへの感想とメッセージが寄せられた経緯について伺う。</p> <p>(3) 今年は沖縄戦終結75周年、国による「全国戦災調査報告書」に沖縄県だけが調査されず記載されないのは不当である、見解を伺う。</p> <p>(4) ヘイトスピーチが社会問題となっている。県民広場周辺で外国人観光客に対して差別的な言動をしている団体がいる。観光立県として問題である、見解を伺う。</p> <p>(5) 安倍政権はカジノを含む統合型リゾート施設、IRを推進し、自民党は沖縄県への誘致をもくろんでいるようだが、見解を伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 米軍基地問題に関する万国津梁会議の提言及び今後の対応等について伺う。</p> <p>(2) 普天間飛行場からの泡消火剤流出事故に係るPFOS問題、現状と課題、立入調査等の対応について伺う。</p> <p>(3) 辺野古の埋立承認取消しをめぐる県と国との訴訟・サンゴ類特別採捕許可申請係争処理委員会結論と今後の対応について伺う。</p> <p>(4) 米国下院軍事委員会小委員会にて国防権限法案に辺野古工事の検証が盛り込まれた。訪米の成果である。今後の対応、見通しについて見解を伺う。</p> <p>(5) 嘉手納基地で発生した危険物取扱い施設の火災状況と原因、課題、今後の対応について伺う。</p> <p>3 新型コロナウイルスが県内経済に与えた影響、現状と課題、今後の見通し、対応等について伺う。</p> <p>4 毎年解消してはいるが、県内待機児童数の現状と課題、今後の対応について伺う。</p> <p>5 中高生バス通学無料化に向けた取組について、内容と課題、対応を伺う。</p> <p>6 ちばらな文化芸術プロジェクトの内容と課題、対応を伺う。</p>			

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	12分	國仲 昌二(ていーだネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 「誰ひとり取り残さない社会の実現」について

(1) 玉城知事が県政の柱として掲げる「誰ひとり取り残さない社会の実現」について

ア 「誰ひとり取り残さない、沖縄らしい優しい社会」の構築に向けた政策の推進に向けて設置した「SDGsに関する万国津梁会議」の取組状況について伺います。

2 新型コロナ等感染症の影響について

(1) 都道府県間の移動自粛が解除され、本県にも県外からの観光客等が増加傾向にある中、離島(宮古、八重山)における感染症予防に向けた具体的な取組について伺います。

ア PCR検査が宮古や八重山の医療機関で実施できることが可能になるのは、いつ頃を想定しているのか伺います。

イ クラスタ(集団感染)が発生し、病床数が不足した場合の対応策を伺います。

ウ 「旅行者専用相談センター沖縄」(TACO)の宮古空港、石垣空港への設置については、分室を検討しているようですが、設置の時期はいつ頃を想定しているのか伺います。

(2) 小・中・高校生及び教職員への影響について

ア 長期休校による小・中・高校生、教職員への心理的負担が指摘されているが、県が把握する課題と今後の対応策について伺いたい。

イ 長期休校による教育課程の遅れが危惧されるが、今年度の高校入試等の課題と対応について伺いたい。

3 イージス・アショア配備断念について

(1) イージス・アショア配備断念と辺野古新基地建設について

マスコミ報道によると、配備断念の理由が「技術上の問題」と「膨らみ続けるコスト」とのことなので、まさに辺野古新基地建設も同様の理由で断念すべきだと考える。知事の御見解を伺いたい。

(2) イージス・アショア配備断念と離島への駐屯地配備、弾薬庫建設について

配備断念の理由には「民家に隣接している」ことや「地元の住民の強い反対」があることも報道されている。宮古や八重山への駐屯地配備、弾薬庫建設も「民家に隣接」し、危険性が指摘されており「地元の住民の強い反対」もある。断念すべきではないか。知事の御見解を伺いたい。

4 自然環境の保全について

(1) 赤土等流出の対策について

ア 沖縄県の赤土等流出の状況とその対策について伺いたい。

イ 宮古における赤土等流出に対する県の対応について伺いたい。

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	15分	平良 昭一(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 首里城の再建に向けた施策と周辺地域の活性化支援策の現状と対策について伺う。
- (2) 新型コロナウイルス対策について
 - ア 感染拡大防止策と経済支援策、生活困窮者に対する支援策について伺う。
 - イ 各種イベント中止が相次ぎ、次回開催が危ぶまれている状況が多々あるがその対策について伺う。
 - ウ 沖縄の伝統である結婚披露宴を取りやめる状況が続いており、今後の対策について伺う。
 - エ 観光闘牛沖縄の闘牛飼育者への支援について伺う。
- (3) 新たな沖縄振興計画の特徴と方向性について伺う。
- (4) 「イージス・アショア」配備計画停止と辺野古新基地建設強行に関する知事の所見を伺う。
- (5) 北部基幹病院設立に向けた状況を伺う。
- (6) 持続的な水源地域の振興策に対する水源基金創設について伺う。
- (7) 北部へのテーマパーク建設の状況を伺う。
- (8) 遅れている世界自然遺産登録に向けた取組について伺う。
- (9) 琉球歴史文化の日の制定について伺う。
- (10) 世界のウチナーンチュ会館について伺う。
- (11) 日米地位協定改定への取組の実績・課題・今後の対応策を伺う。
- (12) 公共交通(鉄軌道、LRT等)の導入について伺う。

2 企画部関係について

- (1) 過疎地域の生命線である共同売店について伺う。
 - ア 県内の共同売店の経営形態について伺う。
 - イ 閉鎖されている件数について伺う。
 - ウ 交通不便地域の維持は絶対的に必要であるがその施策について伺う。
- (2) 県内の通信不通地域の状況とその対策について伺う。
- (3) やんばるインバウンドクルーズ推進と課題、そして水際の検疫が重要であり、その対策について伺う。

3 土木建築関係について

- (1) 国道449号整備の進捗状況と今後の計画について伺う。
- (2) 県道84号線整備について伺う。
- (3) 本部港立体駐車場が完成活用しているが、絶対数が不足している現状であり、その対策と今後の整備について伺う。
- (4) 伊江島空港有効活用が地元の要望としてあるが、その実現に向けた取組について伺う。

- (5) 不調・不落、応札ゼロの現状、課題を伺う。
- (6) 県経済を底上げするために県発注公共工事を早期に発注、受注をしてはどうか。
- 4 農林水産部関係について
 - (1) 若い農林水産業者育成に対する支援策について伺う。
 - (2) 塩川沖の漁場、通称ブーマー曾根の漁業権の問題について伺う。
- 5 教育関係について
 - (1) 義務教育のスクールバス賃負担のある市町村があるが、知事の政策である高校生のバス通学無料化との関わりから新教育長にその見解を聞きたい。
 - (2) コロナの影響で休校になった期間の定期券の対応について伺う。
 - (3) 高校定員内不合格について伺う。
 - (4) 重度知的障害者の普通高校への入学について伺う。
- 6 座間味浄水場について
 - (1) 津波被害を防ぐためにも高台にすべきと思うがどう考えているか。
 - (2) 選定地決定は、県の責任でやるべきではないか。
- 7 米軍基地関連について
 - (1) 玉城知事就任後の辺野古新基地建設の進捗状況を伺う。
 - (2) 玉城知事就任後の辺野古新基地阻止の実績を伺う。

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	15分	金城 勉(公明党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 新型コロナウイルス対策について

(1) 感染防止対策について

- ア 今後の感染防止対策で重要なことは水際対策である。現在、県内の空港、港湾での防疫体制、検査体制は万全か。
- イ 県内の医療提供体制について、検査体制、初期感染者の対応、重篤患者の受入れ可能病院数、病床数、医療従事者の状況などはどうか。
- ウ 感染者受入れ病院で、経営悪化を招いているとの報道があるが、県内での状況と対応はどうか。
- エ 医療従事者や感染経験者への偏見や嫌がらせについて、現状と対策はどうか。
- オ コロナ感染防止に関する支援策として、保育所、放課後児童クラブ、高齢者施設、障害者福祉施設、保護施設、児童養護施設等に、マスク、消毒液、手袋、防護服等の備品調達が遅れ、最も必要な時に提供できなかった。原因と今後の対策はどうか。

(2) 経済対策について

- ア 国民一人一律10万円の特別定額給付金について、県内の支給状況、県民の反応はどうか。
- イ 新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業、個人事業所、フリーランスへの支援策として持続化給付金制度があります。県内の執行状況はどうか。また、県独自の支援策はどうか。
- ウ 大学生や専門学校生など困窮学生への緊急給付金の執行状況はどうか。
- エ 県産農産物の移出状況と農家支援策はどうか。
- オ 文化・芸術関係者への支援策はどうか。
- カ 生活者相談窓口の設置状況と活用状況はどうか。
- キ 生活困窮者や若者・子供を支援するNPO法人などの団体への支援策について、県内の対象法人数や支援の在り方はどうか。
- ク 新型コロナウイルスに対応した医療、介護、障害福祉サービスなどの分野の従事者らに慰労金が支給されることになりました。県内での取組はどうなるか。

(3) 「新型コロナウイルス感染症等対策に関する条例」の制定について

- ア 条例案の議会提案はいつになるか。
- イ 県としての条例制定の目的をどう考えるか。
- ウ 第2波への備えについて、特に注意しているポイントはどうか。
- エ 防疫体制、検査体制の構築、並びに軽症感染者、重篤感染者等の隔離施設確保、医療提供体制について、県の考えはどうか。
- オ 感染防止対策の結果生じる社会・経済への影響にどう対応するか。

(4) 沖縄観光復活へのロードマップ作成の取組はどうか。

- ア 県外、国外からの入城観光客数の状況はどうか。

- イ 今後の沖縄観光復活への取組はどうか。
- ウ 今年10月に沖縄開催が予定されている「ツーリズムEXPOジャパン」の取組はどうか。
- (5) ICT化への取組について
 - ア 県内のICT化への社会基盤整備の現状はどうか。
 - イ 小中校のGIGAスクール構想の取組と県立学校の取組の進捗状況はどうか。
 - ウ 離島におけるICT遠隔教育の取組はどうか。
- 2 次期振興計画の取組について
 - (1) 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の総点検はどうか。
 - (2) 残された課題から展望する次期振興計画の重要ポイントは何か。
 - (3) 次期振興計画における一括交付金制度の考え方と沖縄関係特別税制、高率補助制度の取扱いについて県の考えはどうか。
 - (4) 過疎化、無人島化が懸念される離島振興の在り方をどう位置づけるか。
 - (5) 持続可能な開発目標、SDGsの位置づけをどうするか。
- 3 首里城再建と地域復興の取組について
 - (1) 首里城復興基本方針について何う。
 - (2) 御茶屋御殿や中城御殿などの周辺施設を含めた計画策定はどうか。
 - (3) 32軍壕の保存活用について県の方針はどうか。
 - (4) 龍潭池に蓮やスイレンを植えるなど美観形成はどうか。
- 4 北部基幹病院建設について
 - (1) 県が北部12市町村に示した北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意案の締結はどうか。
 - (2) 基幹病院建設に向けた今後の取組はどうか。
- 5 豚熱処理の取組について
 - (1) 殺処分に対する補償の取組状況、農家との連携はどうか。
 - (2) 養豚再建への取組
- 6 待機児童問題への対応について
 - (1) 保育士の確保、処遇改善への取組
 - (2) 国の処遇改善策は保育現場で生かされているか。
 - (3) 4月の保育士試験が中止になったが、保育士不足の折、工夫が必要ではないのか。
- 7 「犬・猫殺処分ゼロ」から「殺処分廃止」への県の取組はどうか。
- 8 普天間飛行場の危険除去と辺野古移設への対応について

代表質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月08日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	15分	當間 盛夫(無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 長期化が想定される中で県独自のプロジェクト組織で「沖縄モデル」を構築することで対策強化することについて見解を伺う。</p> <p>(2) 空港・港等での水際対策で、PCR検査を実施することについて見解を伺う。</p> <p>(3) 台湾交流再開と国際線防疫体制強化について実施状況を伺う。</p> <p>(4) 海外クルーズ船の入港予定状況と今後の対応策を伺う。</p> <p>(5) 産業構造の脆弱さが指摘されているが、今後の対応策を伺う。</p> <p>(6) コロナ倒産・失業者増加を抑制するための県の対応策を伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 莫大な費用、長期化する建設年数から辺野古移設「見直し」論が出ているが知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 知事は辺野古の新基地は「造らせない」と明言しているが、対応策を伺う。</p> <p>(3) 翁長・玉城県政での移設に関する裁判に伴う総費用と成果を伺う。</p> <p>(4) ワシントン事務所の人件費・活動事業費の状況と成果を伺う。</p> <p>3 振興計画について</p> <p>(1) 特殊事情に基因するとある県民所得の低さ、貧困率の高さの課題が解決されない理由を伺う。</p> <p>(2) 「一括交付金の大半が年度の後半に執行されている」との指摘について状況と理由について伺う。</p> <p>(3) OISTの設置目的及びこれまでの予算総額と沖縄振興への貢献にどのように寄与しているか伺う。</p> <p>(4) 新沖縄発展戦略で県土構造の再編が提言されているが、「中南部都市圏の全体的マスタープランの策定について」状況を伺う。</p> <p>(5) 「格差・貧困の解消、誰一人取り残さない社会」の基本的指針の達成は「教育費の無償化」であるが状況を伺う。</p> <p>(6) 離島振興における久米島での「海洋深層水取水増設事業」での国と県の対応状況を伺う。</p>			